

PRESS RELEASE

報道関係者 各位

2026年10月16日(金)

聴覚障がい当事者が運営する就労継続支援B型事業所「ふくろうの家」、大型送迎車の導入とカフェ併設型施設への移転に向けたクラウドファンディングを開始！

～誰もが手話で安心して働き、自然に地域と繋がれる「第二の家」を相模原から～
神奈川県相模原市で聴覚障がい当事者が中心となって運営する就労継続支援B型事業所「ふくろうの家」(運営:合同会社DEAF LIFE、管理者:前川澄子)は、利用者の急増に伴う送迎環境の改善、および地域住民とろう者が手話を通じて交流できる「カフェ併設型施設」への移転・拡充を目指し、クラウドファンディングを開始いたしました。

クラウドファンディング詳細:<https://camp-fire.jp/projects/978178/view>



プロジェクト立ち上げの背景と課題

2025年12月に開所した「ふくろうの家」は、ろう者や難聴者が手話でコミュニケーションを取りながら安心して働ける居場所として、手話講座や各種ワークショップ、地域交流の場などを提供してまいりました。

開所から1年足らずで利用者数が倍増する一方、新たな課題にも直面しています。



1.送迎環境の限界

現在使用している中古の軽自動車は、一度に送迎できる人数が限られているため、何度も往復しなければなりません。また、エアコンの故障に加え、歩行補助車を利用する方も増えており、乗車スペースの確保も課題となっています。そのため、送迎が難しく、通所を諦めざるを得ない方もいらっしゃいます。

2.地域交流・働く場のさらなる拡充

現施設では食品を扱うことができず、ろう者が接客や調理を通じて生き生きと働ける場、そして地域住民が気軽に訪れて手話文化や多様性に触れられる拠点の構築が求められています。

これらの課題を解決し、より多くの方に安心してご利用いただくため、「送迎車の大型化(7～8人乗り)」と「食品取扱可能な新施設への移転・カフェ併設」を実現するプロジェクトを立ち上げました。

クラウドファンディング概要

【ふくろうの家】手話で働き、手話でつながる。みんなの居場所をつくりたい。

実施期間：2026年10月15日～2026年11月30日

目標金額：2,000,000円(最終ゴール5,000,000円)

主な資金使途：

【ファーストゴール(200万円)】：大型送迎車両の頭金、新施設物件契約費用

【セカンドゴール(300万円)】：新施設のバリアフリー改修・内部リフォーム費用

【サードゴール(400万円)】：併設カフェの厨房設備工事費用

【ファイナルゴール(500万円)】：カフェ客席備品・調理器具等の購入費

主なリターン(返礼品)：

クラファン限定デザイン オリジナルTシャツ・クリアファイル

手話動画付きメッセージ(字幕あり)

「ふくろうの家」1周年記念イベントご招待券

特別手話講座 参加チケット など

代表者(管理者:前川澄子)のメッセージ

私はろう者の両親のもとで育ち、父から『仕事をする上で、仲間との支え合いがどれほど大切か』を教わりました。聞こえない世界で働く父の苦労を見てきたからこそ、手話で仕事を覚え、安心して働けるアットホームな場所を作りたいという思いで『ふくろうの家』を開所しました。

新施設に併設するカフェは、単なる飲食店ではなく、聞こえる人と聞こえない人が自然に出会い、手話や聴覚障がいについて理解を深め合える地域交流の拠点です。障がいの有無にかかわらず、誰もがつながりを感じられる社会を相模原からつくっていきたいと考えています。皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

<手話でのご挨拶はこちら>

<https://youtu.be/rL7O3dYLyc4?si=ucptG4RDvWEt7unM>



事業所概要

事業所名: 就労継続支援B型事業所 ふくろうの家

運営会社: 合同会社DEAF LIFE

管理者: 前川澄子

所在地: 神奈川県相模原市

事業内容: 聴覚障がい者を対象とした就労継続支援B型事業、手話講座、地域交流ワークショップの運営など

【本件の問い合わせ先】

担当者名: 前川

電話番号: 050-3623-9726

メール: llc.deaf.life.office@gmail.com